

# 会議等結果報告書

令和5年6月16日

1. 会議名 ながさき環境県民会議4R部会
2. 日時 令和5年6月5日（月）13：30～15：10
3. 場所 長崎県庁行政棟3階 321会議室
4. 出席者 別添名簿のとおり
5. 内容

## 1. 開会

- ・赤澤課長あいさつ
- ・石黒部会長のあいさつ

## 2. 議事

### (1) ながさき環境県民会議について

- 1) 総会・幹事会及び部会の説明について（古川）【資料1、2】  
ゴミゼロながさき実践計画の概要との説明と組織体制について説明
- 2) 役員の変更について（古川）  
糸山議長の退任に伴う、早瀬副議長の議長代理について説明

→特に意見なし（承認）

### (2) ゴミゼロながさき実践計画について（古川）

- 1) 令和4年度活動実施報告について  
ゴミゼロながさき実践計画の進捗管理について【資料3-1、3-2】
- 2) 令和5年度活動実施計画について  
資料なし
- 3) 各団体からの成果指標について【資料4-1、4-2】  
成果指標の取組団体の紹介と県庁オフィスエコプランの説明

→特に意見なし（承認）

### (3) ながさき環境県民会議幹事会からの提案について（村田係長）【資料5】

## 主な質疑・意見等

(●北口委員、▲黒川委員、△石黒部会長、○事務局)

●国は3Rと言い、長崎県の清掃会社CMでも3Rを強調しているが、長崎県は4Rを推進しているのではないか。こういう方には4Rを強く発信した方がよいのではないか。やってみないとわからない。

資料15Pにあるアクション4・5について、3Rと書いてあるんですね、4Rはどうしたのか。こちら辺はきちんと押さえるべきではないか。

○(15ページ)アクション4・5については、あくまで国の表現であり、環境省が出しているゼロ・カーボン30を参照しているだけで、県は4Rでやっていくことは変わりありません。県で3Rの表現を使うことはありません。

△部会の名称も4Rですし、我々も一貫して、最初に「リフューズ」から使っておりますので、4Rでかわらないということでもよろしいでしょうか。

▲7ページの照会結果と13ページの取り組む内容との結びつくようで結び付かないような気がします。

○7ページは皆様のご意見を集約し、まとめたものです。様々なご意見がございましたが、ある程度集約しておりますのが13ページでございます。事務局の方である程度作成いたしました。アクションをとっていただく必要があるということで身近で、すぐ取り組めるようなことを①ということで作ってみました。

②の家計簿ですが、ライフスタイルの変換というのは、企業様ではなくて、各ご家庭において、無駄はないか見直しましょうということ。カーボンニュートラルに向け県民ひとりひとりの取組が大事となり、その取組により、家庭の家計簿に反映することで、ライフスタイルの変換という各家庭での見直しの2本立てでどうでしょうかということで作ってみましたということ。

○照会結果と制度設計の関係について補足いたします。

まず、7ページの照会結果でございますが、こちらは、「ライフスタイル転換のために、必要な取組・できる取組について、どのようなことが考えられるか。」との問いに皆様からいただいた回答を記載しております。

ご覧のとおり、《食ロス》、《省エネ家電の普及》、《住宅リフォーム》、等々、非常に多くの切り口の回答がございました。

ライフスタイルの転換は、非常に対象が幅広いため、昨年度の部会でも「取り組むべきことが多すぎて、どこから手を付けてよいかわからない。」とのご意見が出ていたところです。

そこで、この回答結果を踏まえ、制度設計を検討するにあたり、まずはある程度取組を絞ることが必要になると考えました。

ここで、ご意見中、赤字にしているところでございますが、「ゼロカーボンアクション30の取組内容のうちライフスタイル見直しに係る活動に焦点を当てる。」「月毎にテーマを決めた内容とし、毎月テーマを変え発信していく方式等考えたらどうか。」というものがございましたので、これを取り上げさせていただきました。

その結果、制度としてまとめたのが、13ページの①【ながさきゼロカーボンアクション12(仮称)】の創設です。

次に、8ページの照会結果でございますが、これは、「ライフスタイル転換に取り組むメリットと取組まないデメリットの見える化について、どのようなことが考えられるか。」という問いに対して、皆様からいただいた回答を記載しております。

これについては、皆様から見える化に対して概ね肯定的なご意見をいただいたことから、

見える化は有用であるとの認識を新たにしたところです。

では、どのように「見える化」を行うかですが、これは、ご意見中、赤字にしているところでございますが、「いわゆる環境家計簿らしきものを県が作成し、家庭や事業所に取り組んでいただき」というものがあり、見せ方として非常にわかりやすいのではないかと考えたことから、取り上げさせていただきました。

その結果、制度としてまとめたのが13ページの『②【ながさきゼロカーボン家計簿（仮称）】の作成』です。

以上が、照会結果と制度設計の関係です。

▲これだけ書いていただけているので、結びつきを説明する必要があると思うんですね。

検討した結果、ライフスタイルの変換のためには、家庭向けが必要なんだと。

家庭向けのアクションを最優先にしていくなだと。

検討の結果、絞って総会で説明する必要があるのかなと思います。

○総会でご説明する際には、結びつきについても説明させていただきます。

▲15ページのアクション2の「クールビズに挑戦」しようというところですが、今さら挑戦しなければならないのかなと。「挑戦」より「徹底」かな。（同様にアクション11、12も）言わんとしていることはわかりますが、一般化したもっと県民がわかり易く、取り組み易いキャッチコピーにすべきではないでしょうか。

○「クールビズ」という言葉も普及しているし、みなさんの取組になっていますので、さっきおっしゃっていただきました「徹底」など表現について、考えていきますのでよろしくをお願いします。

#### (4) ながさき環境県民会議のスケジュールについて（古川）【資料6】

→特に意見なし（承認）

#### 全体を通して主な質疑・意見等

(●菅委員、△石黒委員、○事務局)

●17ページの「わが家の省エネ日記」のパンフレットですが、学校関係に配布しているのでしょうか。具体的に紹介してください。

○これは、県の温暖化防止活動推進センターで作成し、2,100部を希望する学校へ配布しており、子どもたちにチェックしてもらおうということでいただいています。

省エネを見直すには、良い教材と思います。

●わかり易くていいと思います。

○資源循環推進課の方でも、昨年度に4Rの方も教材も配布しております。県HPにもございます。

△この「ながさき環境県民会議幹事会からの提案」というのは、ながさき環境県民会議に諮るのでしょうか。

○最終は総会において、皆様にご確認いただき承認という形になる予定です。総会までに若干の修正を行い、総会承認後、試行という形で進めていこうと考えております。

△他にご意見がございましたら、事務局の方へお願いいたします。

15:45 終了

- 意見について (6/6 TEL)

意見者 (北口委員) : 15ページのアクション4, 5について、4Rにつながる表現にしてください。回答 (事務局) : 承知しました。